

(別紙5)

整理番号 2022P-129
補助事業名 2022年度子どもとその親が幸せに暮らせる社会を創る補助事業
補助事業者名 特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

年間約18万件の子どもの声を聴いているチャイルドラインのデータから子どもの実態を分析し、また、実際の子どもたちの声から見える子どもたちの問題を取り上げ、解決のために大人社会が何をなすべきかという提言を行うことを目的とした報告書を作成し、社会発信のために使用する。

子どもたちが安心できる居場所づくりのために、作成した報告書などを活用して、各地域での啓発活動や社会発信をしていく。

(2) 実施内容

子どもが幸せに暮らせる社会を実現するための活動

■「2022チャイルドライン年次報告」

2021年度の電話、オンラインチャットおよびHP上で設置された「つぶやく」に寄せられた子どもの声のデータや、活動から見える子どもたちの状況と社会課題、チャイルドライン活動の現状や課題などを広く社会に伝えるための資料として制作した。

ウェブサイトへも掲載し、一般の方も閲覧・ダウンロードできるようになっている。

(URL) <https://childline.or.jp/supporter/report>

■啓発、提言活動（勉強会等）

2022年12月に国会議員、関係省庁向け勉強会で2022年次報告書を使つての報告をし、参加した関連省庁に、必要な子どもへの支援の提言とチャイルドラインからの要望を伝えた。



(別紙5)

2 予想される事業実施効果

2021年度は電話やチャットを通じて16万3千件弱の子どもの声を受けとめることができた。

チャイルドライン支援議員連盟と協働で国会議員や関係省庁の担当者に向けて年次報告書・ニュースレターの配布をしたことは国や自治体の施策づくりへの提言へとつながる。

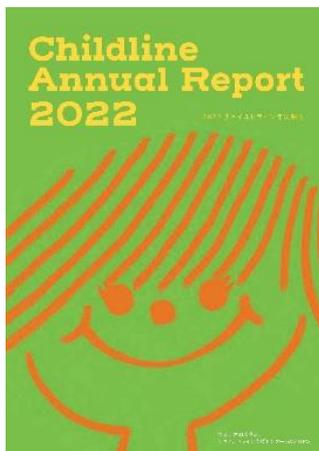
ウェブサイト内にて年次報告書を掲載、ダウンロードできることによって、支援者やマスメディアなどに提供できたことは、子どもの周囲にいる大人への啓発につながる。

また、小児科医院や児童館へカード・ポスター、ダイジェスト版を配布したことは、日常的に子どもの目に触れることとなり、より相談へのハードルを低下させることができると考えている。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

2022チャイルドライン年次報告



(URL) <https://childline.or.jp/supporter/report>

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

該当なし

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 認定特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター
(ニンテイトクテイヒエイリカツドウホウジンチャイルドラインシエンセンター)

住 所 : 〒162-0808
東京都新宿区天神町14 神楽坂藤井ビル5階

代 表 者 : 代表理事 竹村 浩 (ダイヒョウリジ タケムラ ヒロシ)

担 当 部 署 : 事務局 (ジムキョク)

担 当 者 名 : 事務局員 寺地 理奈 (ジムキョクイン テラチ リナ)

電 話 番 号 : 03-5946-8500

F A X : 03-5946-8501

E - m a i l : info@childline.or.jp

U R L : <https://childline.or.jp/supporter>